

経営比較分析表（令和2年度決算）

兵庫県 伊丹市

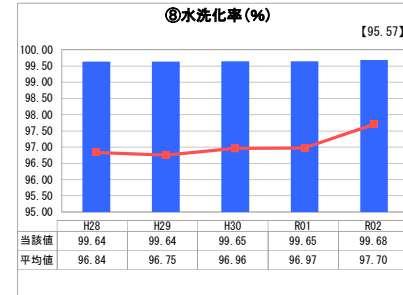
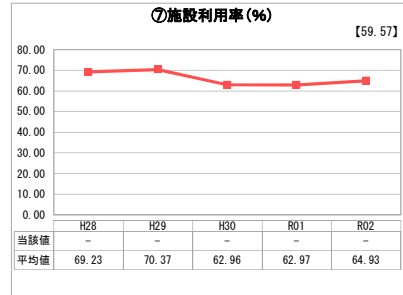
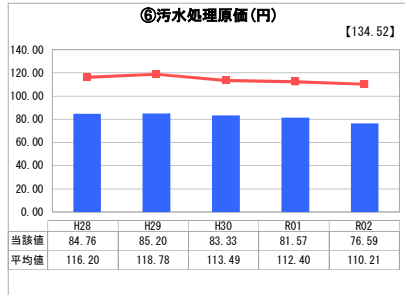
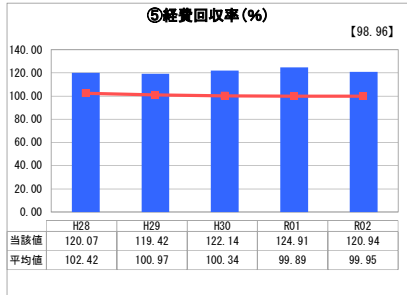
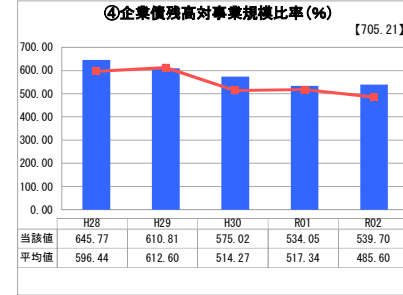
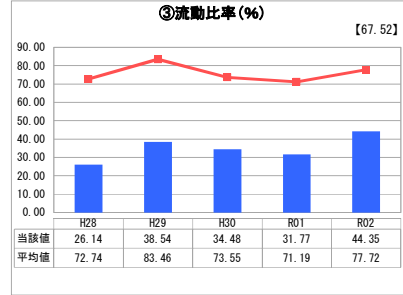
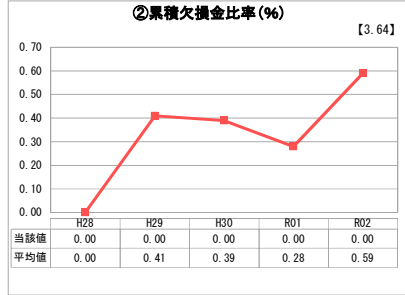
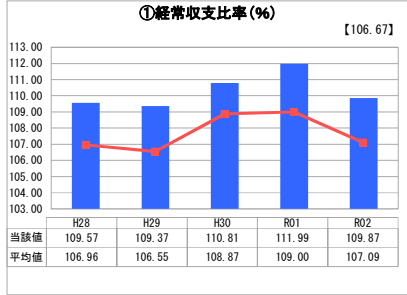
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.63	100.00	75.13	1,727

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
203,509	25.00	8,140.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
203,160	20.26	10,027.64

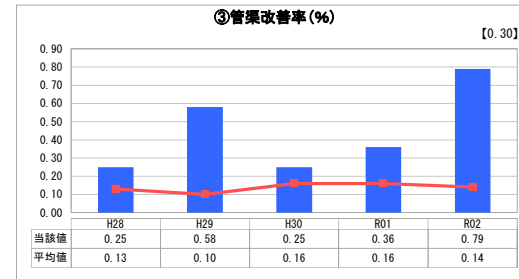
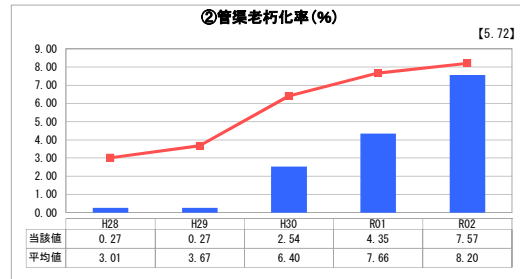
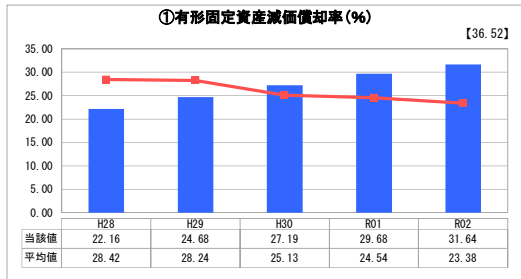
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、単年度の収支が黒字であることを示す100%を上回っており、類似団体平均値も上回っているため、経営状況は健全な水準にあるといえます。
- ② 流動比率は、必要とされる100%を下回っており、類似団体平均値と比較しても低い状況であり、今後も支払能力を高めるために経営改善を図る必要があります。
- ③ 企業債残高対事業規模比率は、減少傾向にありますが、今後も健全経営の維持による財源確保を図り、計画的な企業債発行と償還を行い、企業債残高を減少させる必要があります。
- ④ 経費回収率は、平成23年度の使用料改定以降は100%を上回っており、類似団体平均値よりも高い水準にあります。
- ⑤ 汚水処理原価は、経営の効率化に向けた取り組みを継続的に実施してきたこともあり、類似団体平均値と比較して低い水準にあります。
- ⑥ 施設利用率は、類似団体平均値と比べ高い水準にありますが、100%達成に向けて、水洗化の啓発活動などを継続的に取り組んでいく必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、平成28年から令和2年までの5年間で22.16%から31.64%と増加しており、令和2年度については類似団体を上回っています。今後も増加していくことが見込まれています。
- ② 管渠老朽化率は、類似団体と比べ下回っていますが、今後、法定耐用年数を経過した管渠の割合が増加することが見込まれています。
- ③ 管渠改善率については、老朽管調査の結果を基に老朽度に応じて更新を行うとともに、実使用年数も考慮した管渠改善率を設定し、計画的に施設更新を行っていく必要があります。

全体総括

当市の人口は、ほぼ横ばい程度で推移していますが、有収水量については、今後、緩やかに減少することが予測されます。

平成21年度の法適化及び平成23年度の使用料改定により、経営の健全性については一定保たれつつありますが、管渠老朽化率は増加傾向にあり、法定耐用年数を超えた管渠が増加してきていることから、今後、多額の更新費用が必要となるなど、厳しい経営環境が続くと予測されます。

これらに対応し、将来にわたって持続可能な下水道事業を実現するため、引き続き経営戦略に基づいた計画的な施設の長寿命化、更新改良に努めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。